

## 重点プロジェクトについて

### 1 考え方

「政策展開の基本方向」では、県勢の発展と県民福祉の向上を図るため、本県が着実に取り組むべき政策及び施策について、3つの目標別に総合的かつ体系的に整理しましたが、重要性・緊急性の高い課題に対しては、全庁を挙げて、分野横断的に優先して取り組んでいく必要があります。

そのために、今後（平成28年度からの）5年間に優先して取り組むべき重点的・先駆的なテーマについて、「重点プロジェクト」を設定し、本県の特長・優位性・潜在力を最大限に活用しながら、積極的に課題の解決を図っていくこととします。

なお、現在、策定作業中の茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略において、本県の最重要の課題である人口減少対策をとりまとめており、本計画の重点プロジェクトとの関連も深いことから、相互の関係を分かりやすくするため、重点プロジェクトでは、総合戦略と重複する取組を明示することとします。

### 2 重点プロジェクトのテーマ（素案）

「重点プロジェクト」のテーマについては、以下のとおりとします。

	テーマ	プロジェクトの名称（案）
1	医療・介護・健康づくりに関するもの	高齢者いきいき健康長寿社会づくりP J
2	防災・治安・交通安全に関するもの	みんなで守る，暮らしの安全・安心P J
3	環境・エネルギーに関するもの	次世代に繋ぐ，豊かな環境P J
4	結婚・出産・子育てに関するもの	子育てするなら“いばらき”P J
5	子ども・若者の育成に関するもの	未来を拓く子ども・若者育成P J
6	女性の活躍に関するもの	女性が輝く社会づくりP J
7	競争力ある産業の育成と雇用の創出に関するもの	未来を創る産業イノベーション創出P J
8	農林水産業の成長産業化に関するもの	日本をリードする食料供給基地パワーアップP J
9	グローバル化に関するもの	世界に開かれたいばらきづくりP J
10	観光・交流の拡大に関するもの	いばらきへGo！観光おもてなし日本一P J
11	県北地域の振興に関するもの	魅力と活力にあふれた県北地域創造P J
12	茨城国体，東京オリンピック・パラリンピックを契機とする取組に関するもの	茨城国体，東京オリンピック・パラリンピック ゆめ実現P J

※プロジェクトの概要については、別表のとおり

### 3 論点

- プロジェクトとして取り組むテーマについて、素案のとおり整理して良いか。
- それぞれのプロジェクトにおいて取り組む必要がある事項について、どのようなものがあるか。

	重点プロジェクト名 プロジェクトの目的	総合戦略	主な取組項目	主な関連施策		
				目標	政策	施策
1	<b>高齢者いきいき健康長寿社会づくりPJ</b> 高齢化の進展により、今後ますます医療・介護需要が高まると予測されており、人口当たりの医師数や老人ホーム数が全国低位にあるなど医療資源や介護施設が不足している本県にとって、限られた医療資源を有効に活用した地域医療体制や介護需要の高まりに的確な対応した体制を整備することが、健康長寿社会を築いていくために不可欠となっています。 そのため、地域医療に従事する医師等や介護サービスに従事する介護職員等の養成・確保を促進するとともに、医療・介護が連携した茨城型地域包括ケアシステムの推進を図り、地域において安心して質の高い医療を受けられる体制づくりと充実した介護環境の整備を推進していきます。 また、子どもから高齢者まで、スポーツなどによる健康づくりや生涯学習などによる生きがいがいづくりに取り組み、心身ともに健康で長生きできる地域づくりを進めます。	1-(7)-④ 4-(1)-②	医師等の医療・介護従事者の確保 医療・介護従事者の多様な働き方の実現 茨城型地域包括ケアシステムの推進 医療機関・介護施設の連携促進 医療・介護機器の開発・実用化 総合的ながん対策の充実 生活習慣病の予防対策の充実 感染症対策の充実 介護予防と健康づくり 生涯学習・生涯スポーツの推進	Ⅲ Ⅱ Ⅲ Ⅲ Ⅱ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅰ	1 2 1 1 1 1 1 1 1 4	④ ⑥ ⑤ ④ ② ④ ⑥ ⑤ ② ④
2	<b>みんなで守る、暮らしの安全・安心PJ</b> 首都直下地震をはじめ、地球温暖化に伴い激甚化する恐れがある風水害、土砂災害など大規模自然災害の切迫が予想されております。また、高齢者が関係した交通事故の割合の増加や、ニセ電話詐欺の増加などもあり、地域の安全や生活の安心を確保するために新たな対応も求められています。 そのため、東日本大震災の経験を踏まえて、地域みんなが一体となった自然災害に強い防災体制を構築するとともに、犯罪や交通事故、食の安全など県民生活を取り巻く様々な不安を取り除き、県民が安全・安心に暮らせる地域づくりを推進していきます。	4-(エ)-①	地域防災力の強化 災害体験の伝承と防災教育の充実 治安対策の充実 交通安全対策の充実 食の安全・安心の確保 安全・安心な地域づくり活動の推進	Ⅲ Ⅰ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ	3 2 3 3 3 2	① ③ ③ ⑤ ④ ②
3	<b>次世代に繋ぐ、豊かな環境PJ</b> 世界規模の課題である地球温暖化対策に積極的に取り組むとともに、ラムサール条約に登録された涸沼や、広大で多様な機能を有する霞ヶ浦、9万haを超える自然公園など、水と緑に恵まれた本県の豊かな自然環境を、次世代に引き継いでいくことが私たちの責務となっています。 そのため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー技術の開発を促進し、持続可能な低炭素社会の構築を推進するとともに、森林湖沼環境の改善を進め、魅力ある水辺空間の形成や住みよい環境の創出を図っていきます。	1-(7)-③ 1-(7)-④ 4-(7)-⑤	新エネルギーの創出と再生可能エネルギーの導入促進 低炭素、省エネルギー技術開発と実用化 湖沼環境保全対策の推進 生物多様性の保全と持続可能な利用 快適で住みよい環境の保全と創出 地域の自然環境教育の推進 農山漁村の景観、自然環境の利活用	Ⅲ Ⅱ Ⅱ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅰ Ⅱ	4 1 1 4 4 2 2 3	① ③ ③ ③ ④ ③ ② ⑥
4	<b>子育てするなら“いばらき”PJ</b> 少子化の進展により、子どもの人口がピーク時の約半分に減少し、合計特殊出生率も人口を維持するのに必要な水準（人口置換水準）である2.07を大きく下回り、自治体によっては、消滅の危機が叫ばれるなど、若い世代が安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる環境を整備することが急務となっています。 そのため、結婚・妊娠・出産・子育てについて、切れ目のない支援を行うとともに、家庭と行政、企業、地域等が連携して、社会全体で子育てを支援する環境づくりに取り組み、本県で子育てして良かったと思える社会の構築を図っていきます。	3-(1)-② 3-(ウ)-① 3-(ウ)-③ 3-(ウ)-④	出合いやふれあいの場の創出 安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備 待機児童の解消 地域での子育て支援の充実 教育環境の充実	Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅰ Ⅰ	1 1 1 1 1	① ① ① ④ ①

	重点プロジェクト名 プロジェクトの目的	主な取組項目		主な関連施策		
		総合戦略		目標	政策	施策
5	<b>未来を拓く子ども・若者育成PJ</b> グローバル社会が進展し、変化が激しい時代にあって、明日のいばらきを支え、発展させていくためには、優れた能力や可能性を持つ、子ども・若者の力が欠かせません。子どもたちが持つ能力を、しっかりと伸ばし、育てる、そして地域に還元させていく人づくりが、非常に重要となっています。そのため、いばらきの子ども・若者が、郷土を愛し、心身ともに健やかに育つよう、一人ひとりの個性や能力を伸ばしながら確かな学力の向上を図るとともに豊かな人間性を育む教育を推進し、明日のいばらきを担い未来を拓く人づくりを進めます。	4-(キ)-① 3-(7)-②	確かな学力を身につける教育の充実 豊かな人間性を育む教育の推進 いばらきの科学技術を担う人材育成 郷土を愛する心の醸成 青少年・若者の社会参画支援	I I II I I	1 1 1 4 3	① ② ① ① ③
6	<b>女性が輝く社会づくりPJ</b> 企業等における低い女性管理職の割合や、結婚・妊娠・出産を期にした離職等により30歳代で女性の就業率が下がる、いわゆる「M字カーブ」が解消されていないなど、女性が活躍しやすい環境の整備が進んでいない状況にあります。少子化と生産年齢人口の減少により、将来の労働力不足も懸念されており、今後、女性の活躍と女性の視点を活かした新しい発想による新たな価値の創造は欠かせないものとなってきています。そのため、「女性の力」を、それぞれの個性と能力に応じて最大限に発揮できるように、労働環境の整備や意識の変革、サポート体制の充実等を図り、女性が活躍し、輝ける社会の実現を目指していきます。	3-(エ)-① 3-(エ)-② 3-(エ)-② 3-(エ)-①	女性の能力を発揮できる環境整備 女性のキャリア向上、再チャレンジ支援 女性の社会参画、起業支援 ワークライフバランスの推進  テレワークなど多様な働き方の推進 女性の安全・安心な暮らしの確保	I II I III II III	3 2 3 1 2 4 3	② ⑥ ② ① ⑥ ③ ③
7	<b>未来を創る産業イノベーション創出PJ</b> 本県経済は、社会経済のグローバル化の進展などにより、国内外との厳しい競争に直面しております。地域の中小企業の減少は、地域の活力低下や衰退につながるものであり、地域企業の経営基盤の強化や競争力ある産業の創出などにより、地域経済の活性化と働く場の確保を図ることが期待されています。そのため、本県の有する最先端の科学技術の集積や優れたものづくり技術を最大限に活用し、競争力の源泉となる産業イノベーションの創出を推進していきます。また、首都圏との近接性、交通インフラの充実等の立地優位性を活かした企業誘致を推進するとともに、イノベーションを活用した新産業・新技術の創出や地域経済を支える産業の活性化を図り、生活の基盤である雇用をしっかりと確保していきます。	1-(ア)-① 1-(ア)-② 1-(エ)-①  1-(ウ)-① 1-(ク) 2-(イ)-①	科学技術を活用した未来産業の創出 IoT産業の育成と社会へのIoTの普及 地域を支える中小企業、サービス業の生産性向上  企業誘致の強化 イノベーションを創出する人材の育成・確保 新規学卒者の本県へのUIJターン促進	II II II II II I II	1 1 2 2 2 2 2	① ② ④ ⑤ ① ④ ⑥

	重点プロジェクト名 プロジェクトの目的	主な取組項目		主な関連施策		
		総合戦略		目標	政策	施策
8	<b>日本をリードする食料供給基地パワーアップPJ</b> 日本を食を支える食料供給基地として、多くの農作物を生産・供給している本県ですが、担い手の高齢化、農地の集積の遅れ、高付加価値化の取組不足などにより、5年後、10年後にいばらき農業が継続的に成長するためには、新たな挑戦を進めていくことが必要となっています。 そのため、安全・安心で高品質な農産物を安定的に供給し、消費者の信頼に応えるいばらきブランドの強化を図るとともに、6次産業化による付加価値向上や海外市場も視野に入れた需要の開拓など、「強み」の創出にチャレンジし、茨城の食を日本中に、世界中に発信していきます。 また、これらの取組を支える担い手と経営感覚に優れた経営体の育成を進めていきます。	1-(カ)-① 1-(カ)-② 1-(カ)-④	いばらき農産物のブランド力強化 6次産業化・農商工連携の促進 産学官連携によるフードビジネスの展開 「茨城をたべよう運動」の推進 農業を支える担い手の確保・育成 子どもたちの農業体験の推進	II II II II I I	3 3 1 3 3 2 1	② ② ① ① ③ ④ ②
	<b>世界に開かれたいばらきづくりPJ</b> 人・もの・情報の国際的な交流が拡大し、グローバル化が進んでいる中、グローバル化への対応の遅れは、将来の経済成長への足かせとなるものであり、成長著しいアジアをはじめとした海外需要の積極的な取り込みや、グローバルに活躍できる人材の育成などグローバル化に的確に対応していかなければなりません。 そのため、海外への販路拡大や進出の支援、外国人観光客の誘致などに取り組みとともに、外国人研究者などの海外人材が活躍しやすい環境づくりや国際社会で活躍できる人材の育成を図り、世界に開かれたいばらきづくりを進めていきます。	1-(カ)-③ 1-(イ)-③ 1-(ウ)-①,②	国際社会で活躍できる人材の育成 農林水産物の海外販路拡大 中小企業の海外展開支援 国際交流の促進 外国人が活躍しやすい環境整備 対日投資・国際会議の県内誘致	I II II II III II	2 3 2 4 2 4	② ② ③ ① ② ④
10	<b>いばらきへGo! 観光おもてなし日本一プロジェクト</b> 多くの魅力ある地域資源があるにもかかわらず、情報発信力の弱さやおもてなし精神の不足により、十分にその魅力が伝わっていない状況の中、観光魅力度を向上し、日本一の観光立県となるための取り組みを進めることが求められています。 そのため、多様な機会や媒体を活用し、魅力ある自然景観、多くの文化遺産、四季折々の食材を使った郷土料理などの茨城の魅力を、国内外へ積極的に情報発信するとともに、全ての県民が、本県を訪れた人を、真心のこもった笑顔と挨拶で温かく迎え、誇りを持っていばらきの魅力を伝えていく「いばらきのおもてなしの心得」を実践し、本県を訪れた人が「訪れてよかった、また行きたい」と思えるいばらきを目指していきます。	1-(キ)-① 1-(キ)-① 1-(キ)-③ 4-(ア)-①	おもてなし日本一を目指した体制整備 観光客おもてなし人材のスキルアップ 国際観光・広域観光の推進 ※イメージアップ含む 広域的な交通網の整備 茨城空港の機能充実・強化 水郷筑波サイクリング環境整備 潤沼の利活用の推進	II I II II II II III	4 2 4 4 4 4 4	① ③ ① ② ② ① ③

	重点プロジェクト名 プロジェクトの目的	総合戦略	主な取組項目	主な関連施策		
				目標	政策	施策
11	<b>魅力と活力にあふれた県北地域創造プロジェクト</b> 人口減少、少子高齢化が急速に進んでいる県北地域は、2040年までに3割以上の人口が減少し、高齢化率が4割以上になると推計されており、人口減少を食い止め、地域の維持・活性化、振興を図っていくことが喫緊の課題となっています。 そのため、多様な地域資源を活かして、魅力の発信や観光の推進による交流の拡大を図るとともに、企業誘致や新たなビジネスの創出、地域の特性を活かした農林水産業や地場産業を振興による働く場の確保を図り、県北地域を、魅力と活力にあふれた地域に創造していきます。 また、人口減少という将来的に茨城県全域で直面する課題に先取りして対応することで、その対策のノウハウを習得します。	4-(7)-① 2-(7)-① 4-(キ)-② 2-(イ)-④ 4-(イ)-① 2-(7)-②	(仮称) 県北国際アートフェスティバルの成功と活用 移住・二地域居住の促進 国内外への情報発信の強化 ※イメージアップ含む 付加価値の高い産業創出 地域公共交通の充実 地域資源の発掘と都市農村交流の拡大 IT環境の整備 空き家・廃校等を活用したまちづくり	I 4 II 4 II 4 II 2 III 2 III 1 II 3 II 4 III 2	② ① ① ③ ① ② ⑥ ③ ①	
	<b>茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックゆめ実現プロジェクト</b> 本県は、子どもたちの体力・運動能力調査で全国上位に位置するとともに、サッカーW杯の会場となったカシマサッカースタジアムなどスポーツに親しむ環境があるにもかかわらず、近年の国体成績の低迷など、そのポテンシャルを発揮できていない状況にあります。 茨城国体や東京オリンピックというスポーツのビッグイベントが身近で開催されるのを機に、スポーツを通じた子どもたちの”ゆめ”の実現を支援していかなければなりません。 そのため、子どもたちの運動能力を十分に伸ばし、優れたアスリートとして育成できる環境を整備するなど選手の育成・強化を図っていきます。 また、夢のあるスポーツの祭典を通じて、国内外の観光客との交流を推進し、「茨城の魅力」を全世界に発信し、訪れたい、暮らしたい県として選ばれるいばらきを目指します。	4-(7)-② 4-(7)-②	選手の強化・育成 食育の推進による健やかな体づくり キャンプの誘致 メディアへの情報発信力の強化 ※イメージアップ含む 大会観戦者等の受入体制の整備 国体運営支援ボランティア等の育成	I 4 I 1 II 4 II 4 II 4	③ ② ① ① ①	

※ 総合戦略の番号は、茨城県まち・ひと・しごと創生会議（H27.7.30）の素案段階のもの